

技術開発テーマ名

[商業衛星コンステレーション構築加速化](#)

実施機関名（代表機関）

株式会社QPS研究所

研究代表者名

大西 俊輔

技術開発課題の名称

小型SAR 衛星の量産加速化及び競争優位性確立に向けた機能強化

本SG評価の位置づけ

本ステージゲート評価は、本技術開発テーマの実施方針/公募要領において、年に1回程度のステージゲート評価が設定されていることから、各課題について技術開発及び事業化に向けた進捗状況の確認を主として実施したものの。

評価の概要

本技術開発課題は、全体として概ね当初計画どおりに進捗していると評価できる。

防衛省事業の落札をはじめ、運用中衛星数の増加、衛星製造・打ち上げ、部品調達、量産化の進展など、実用段階に向けた成果が着実に積み上がっている点は高く評価できる。また、事業体制の強化、パートナー獲得、資金調達、サプライヤーとの関係構築も順調であり、適切な実施体制で本課題が推進されていると考えられる。

加えて、市場やニーズ分析に基づき、重点分野を明確化し、競争力の源泉となる技術課題に集中する今後の技術開発計画は、事業化の実現性と国際競争力の両面で期待が持てるものである。

今後、事業化をさらに確かなものとするためには、官需をてことしつつも、海外市場や民生ニーズを確保する戦略をより明確にすることが求められると考えられる。

以上により、公募要領等に示されたステージゲートの観点に照らして、技術開発計画は想定通りに進捗しており、優れた成果が得られている、またはその見通しが得られていることから、技術開発を継続すべきである。

**座長**  
(担当PO)

木村 真一  
東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科 教授

**委員**

今井 良一  
元JAXA理事 (第一宇宙技術部門、第二宇宙技術部門、研究開発部門兼務)

**委員**

尾崎 典明  
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーシップ 副代表理事

**委員**

片岡 晴彦  
日本宇宙安全保障研究所 副理事長

**委員**

門脇 直人  
国立研究開発法人情報通信研究機構 主席研究員

**委員**

栞原 聡文  
東北大学グリーン未来創造機構 グリーンクロステック研究センター 教授

**委員**

張替 正敏  
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 アドバイザー

敬称略、座長を除き、委員は五十音順  
利益相反マネジメント規程に則り、審査委員は、利益相反がある技術開発課題についての審査をしていない